



第3章 計画の将来像及び基本方針



- 1 将来像
- 2 基本方針
- 3 計画の体系

第3章 計画の将来像及び基本方針

1 将来像

文化は、そこに住む人が地域の成り立ちを知り、郷土を愛し、平和を希求する心の礎となるものです。そして、文化は一人ひとりの個性を尊重し、自由な発想や創造的な活動により生み出され、成熟するものです。さらに、多様な交流が文化の発展と創造を促進することで、都市に活力を与え、都市の魅力の向上につながります。

那覇市の第5次総合計画では、めざすまちの姿の一つに「次世代の未来を拓き、豊かな学びと文化が薫る誇りあるまち NAHA」を掲げ、「郷土の歴史、伝統文化・芸能にふれあい、新たな文化を創造するまちづくり」の政策展開を目指しています。

そのめざすべき方向性に従い、本計画においてめざす将来像を以下のとおり掲げます。

風土に育まれた郷土の歴史、伝統文化・芸能、多様な
な-ふあ
 芸術にふれあい、新たな文化芸術を創造するまち「那覇」



1	2	3	4
	5		6
7	8	9	

- 1 工事現場の仮囲いアート
- 2 字小祿の大綱挽
- 3 うちなーぐち講座ワークショップ
- 4 辻じゅり馬祭り
- 5 なは市民芸術祭

- 6 字国場のウズンピーラ
- 7 県立芸術大学生によるランチコンサート
- 8 壺屋でシーサーの日
- 9 組踊の舞台化粧をする子どもたち

2 基本方針

前項で掲げた将来像を実現するために、「那覇市文化芸術基本条例」に基づき、以下のとおり文化芸術施策における基本方針を設定します。

(1) 市民主体の文化芸術の振興

誰もが等しく、気軽に文化芸術活動に参加することができるよう、市民の様々な交流の場や学びの機会を創出します。地域コミュニティを担うのは一人ひとりの市民です。主体的な市民の文化芸術を通じた活動が、ひいては豊かな地域社会の形成につながります。また、独自の風土に生まれ、暮らしの中に根づいた文化は、市民の心の拠りどころとなります。沖縄の伝統文化の基層となる「うちなーぐち」が着実に継承される地域づくりを目指します。

(2) 多様な文化芸術の継承と創造

先人から引き継いできた貴重な財産である文化資源が保存・継承・活用され、それぞれの地域に根差した伝統文化の普及・継承・発展が持続的に行われる地域社会を目指します。また、これまで蓄積されてきた文化芸術全般に関わる研究成果を生かした取組を行います。

「那覇文化芸術劇場なはーと」をはじめ、多様な分野の文化芸術を支える担い手が活躍できる環境が整備され、新たな文化芸術が循環的に創造するまちを目指します。

(3) 文化芸術を生かしたまちづくり

文化芸術が生み出す価値と福祉、教育、まちづくり、国際交流、観光、産業等の関連分野と有機的に連携した取組を行います。

市内に残されている文化資源を活用した都市ブランディングを推進するとともに、自然環境の保全と再生に取り組み、亜熱帯の風土に育まれた那覇の文化のまちづくりを目指します。

(4) 多様な文化交流による NAHA の魅力発信

国内外に魅力あふれる那覇の文化芸術が発信されるよう、空港・港を有する沖縄県の玄関口としての優位性を生かし、広域的な文化交流活動の基点が形成され、アジアをはじめとする海外の人々との多様な文化交流が行われている創造都市を目指します。



がじゃんびら公園

3 計画の体系

